

a 学校教育目標	自ら学び、感性豊かな笑顔いっぱいの子どもを育成する。	b 経営理念 ミッション・ビジョン	【ミッション】(自校の使命) ふるさとを愛し、活力に満ちた、明るく美しい学校の創造。 【ビジョン】(自校の将来像) 地域に根ざした教育活動を展開する学校。
----------	----------------------------	----------------------	--

c 中期経営目標	d 短期経営目標	e 目標達成のための方策	f 評価項目・指標	g 目標値	自己評価				改善方策	学校関係者評価				
					10月	2月	i 達成度	j 評価		k 結果と課題の分析	改善方策	1 評価		
					h 達成度	h 達成度						イ	ロ	ハ
力の定と感性の育成	◎基礎学力の定着と論理的思考力を育成する。 指導法の工夫改の質を向上させると共に、豊かな感性を培う。	・標準学力調査における全学年の通過率向上。	・全国比を100とした、前年度比較の通過率増加ポイント。	2	国語-2.0 算数-1.8	国語-2.0 算数-1.8	60%	C	・個人カルテを作成して、個に応じたステップ学習を実施し、定期的な検証をしてきた。	・個別指導の時間の確保と家庭学習の与え方等、家庭との連携を図る。	○			・学力面において、児童個々の実態を的確に把握し、個に応じた指導と新たな改善の手法を駆使していくことで、学力向上と健全な学校経営が推進されることを期待しています。
		・年間を通しての、計画的な校内研修の充実。	・年間の授業研究の実施回数。	18	12	24	100%	A	・計画通り実施してきた、また、国語科における授業スタイルの確立を図ることができた。	・「書く」ことに重点をおいて、表現力と培っていく。	○			・本を読む児童を増やすための取り組みを、学校のみならず家庭との連携を密にして実践して欲しいと思います。
		・授業を通しての定期的な小中連携。	・年間の小中連携回数。	10	7	10	100%	A	・毎月定期的に実施していくことができた。	・授業を基にした意見交換の場を充実していく。	○			
	◎個性を伸ばし、情操教育の推進を図る。	・「書く」ことにおける、表現力の育成。	・詩や読書感想文等、積極的な作品応募率(%)	80	60	100	100%	A	・これまで「椋鳩十」や「木下夕爾」等の作品応募をしてきた。	・日記や作文指導を継続的に行い、書いて表現する力をつけていく。	○			
		・全校合唱による美しい歌声と表現力の育成。	・児童の意識調査における達成感及び成就感の肯定的評価の割合(%)	80	60	80	100%	A	・児童の意識調査では、80%の肯定的評価であった。	・今後も継続的に指導していく。また、歌声だけでなく歌っているときの表情にも指導を加える。	○			
徳育と基礎体力の充実	○柔軟性・巧緻性・持久力を養い、基礎体力を培う。	・運動能力テストにおけるシャトルランの向上。	・全学年、前年度比較の増加ポイント。	80	70	90	100%	A	・全学年2~6ポイント増加している。	・今後も継続的に実施していく。	○			・人間形成には継続的な活動が大切だと思います。中期的視野にたち且つ足下のことも実態も把握し、根気強く取り組んでいって欲しい。
		・継続的な縄跳びの実施。	・縄跳び検定3級の合格率(%)	80	0	70	80%	B	・目標達成率が70%に留まった。	・目標を設定し意欲を喚起させる工夫が必要である。	○			・来校した際に、気持ちよく挨拶してくれる子どもたちが多いことは嬉しいです。
		・継続的な持久走の実施。	・年間走行距離数 低 中 高 (km)	50 70 100	23 32 42	48 65 85	80%	B	・目標達成率が80%に留まった。	・今後も継続的に実施していく。	○			・大いに叱れる先生、常に子どもの心をつかんでいる先生。こんな先生にどんな子どもも出会えたらいいなあと思います。
	○礼儀作法を身につけ、基本的な生活習慣の確立を図る。	・気持ちのいい挨拶の励行と正しい言葉遣いの徹底。	・児童の意識調査における肯定的評価の割合(%)	90	80	85	85%	B	・児童の意識調査では、85%の肯定的評価であった。	・相手を意識した言葉遣いの指導を今後も継続的に行う。	○			
		・時間厳守の徹底。	・児童の意識調査における肯定的評価の割合(%)	90	80	85	85%	B	・児童の意識調査では、85%の肯定的評価であった。	・集団下校時の集合時間厳守の徹底を強化していく。	○			
		・履き物を揃えることの習慣化。	・児童の意識調査における肯定的評価の割合(%)	90	85	90	100%	A	・児童の意識調査では、90%の肯定的評価であった。	・今後も継続的に指導していく。	○			
信頼される学校の構築	◎地域人材を活用し、地域の文化・産業・伝統等を学ぶ。	・勤労生産活動の推進。	・穀物や野菜の収穫銘柄数。	10	8	11	100%	A	・収穫銘柄は11種類。全児童に勤労観を培うことができた。	・今後も継続的に実施していく。	○			・学校が、目標に向かって一生懸命指導に当たっている姿がよくよく理解できました。・地域にとって学校が中心であることはいうまでもありません。学校が元気であれば、地域も癒されます。全体で見守りよい地域にしていきたいです。・先生方の姿を拝見して、いつも連携がとれていると感じます。
		・地域の施設に出向いての、交流学习の実施。	・全学年での訪問するのべ回数。	6	5	6	100%	A	・サンライズ大池・ピッコロ等、地域の施設に計画通り訪問をし、交流することができた。	・今後も継続的に実施していく。	○			
		・地域とふれあう交流事業の実施と内容の充実。	・年間実施回数。	3	2	3	100%	A	・町民運動会・盆行事・秋祭り、新春ふれあい広場等、計画通り実施することができた。	・今後も継続的に実施していくが内容を工夫していく必要がある。	○			
	○教職員の経営参画意識の高揚を図り、情報発信を積極的に行う。	・積極的な情報発信。	・HPの更新。(毎週)	1	0.6	0.6	60%	C	・毎月更新してきたが、学校行事や学級の様子等、内容が十分とはいえなかった。	・学校行事や学級の様子等、タイムリーに掲載していく。	○			
		・全教職員による学校経営診断の実施。	・年間回数。(各学期1回)	3	1	3	100%	A	・予定通り、定期的実施した。	・今後も継続的に実施していく。	○			
		・還流学習の実施。	・年間回数。(毎月1回)	12	7	11	90%	B	・予定通り、定期的実施してきた。	・今後も継続的に実施していく。	○			

本年度の重点目標については、◎印で示す。

【j:自己評価 評価】
 A:100≦(目標達成) B:80≦(ほぼ達成)<100
 C:60≦(もう少し)<80 D:(できていない)<60

【1:学校関係者評価 評価】
 イ:自己評価は適正である。 ロ:わからない。
 ハ:自己評価は適正でない。